



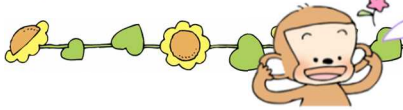
みみだより No.52

鳥取聾学校ひまわり分校 聴能担当 R6.7.22

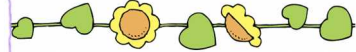
文責：野口



1学期も、もうすぐ終わりますね。暑い時期、補聴器も人工内耳も汗や水には大変弱いので、気を付けて管理する必要があります。汗を拭きとったり、チューブに水滴がついていないか確認したりして乾燥機にかける等、こまめに管理してください。



補聴器・人工内耳のメンテナンス



長い夏休み、子どもたちは、友達と遊んだり家族でお出かけをしたり、親戚の方と出会ったり…等々、普段できない経験をたくさん積むことと思います。お休み中には、補聴器や人工内耳の管理はもちろんですが、改めて、機械の調子はどうかな？子どもたちのきこえの様子はどうか？と意識してみてください。何か気になるときには、すぐに補聴器店さんや病院にご相談くださいね。

【お出かけの時(朝)のチェック！】

□補聴器や人工内耳の装用 OK？

□きこえ方は OK？

(電池の有無やライトの点滅等も確認しましょう。)

□充電機、予備電池は OK？

※全部一人でチェックできるようになることが最終目標ですが、最初は、大人と一緒にいき、少しずつできることを増やしていきましょう。



【きこえ方について】

年齢が小さい頃は、きこえ方の様子を保護者さんが主治医に説明することが多いと思いますが、本人の成長に合わせて、少しずつ自分のことばで主治医に伝えられるようにしていけるとよいですね。「～な時に、～な音がうるさかった。」等ときこえ方を自分で説明できる力をつけられるよう学校でも家庭でも意識していきましょう。



学校でも登下校時にチェックしています。



=人工内耳について=

人工内耳については、きこえの様子や機械の調子を主治医と相談しながらメンテナンスしていきます。充電機は2年位が交換の目安です。(静かな所での使用は長く、うるさい所では早く消耗するそうです。)接続部分が緩くなると交換時期です。断線については、医大にも予備があるそうです。来院前に問い合わせてください。米子市では、令和6年4月1日からの日常生活用具の給付種目について見直しが行なわれ、人工内耳の助成が7項目(スピーチプロセッサ、人工内耳用電池、充電器、充電機、イヤーマールド、マイクロホンカバー、補聴器・人工内耳用乾燥機)が追加されました。(詳しくはHPまたは米子市福祉保健部障がい者支援課にお問い合わせください。)



=補聴器について=

補聴器の耐用年数は「5年」ですので、5年ごとに交付申請をすることができます。前回交付を受けたのはいつでしたか？今後の交付の時期の見当をつけておくとうよいでしょう。また、手帳のないお子さんの場合、補聴器購入の助成が受けられるのは高校卒業(18歳の3月31日)までです。高校3年時に補聴器購入ができるよう、計画を立てておくのがよいと思います。



(例)

0~2歳
初めて
装用

5~7歳
小学校
入学頃

10~12歳
小学校
卒業頃

15~18歳
高校生
の頃

ワンポイント手話



